

# 光星3季連続準V



〒030-0180  
青森市第二回廊町3丁目1番89号  
東奥日報社  
©東奥日報社 2012

第94回  
全国高校野球  
選手権大会

## 号外

詳報は夕・朝刊で

# 東北勢初「大旗」ならず

**光星学院野球部**  
1956(昭和31) 準優勝。夏の通算成績は16勝6敗。0年創部。夏の甲子園出場は2年連続6度目。春は6度出場。昨夏、今春とともに決勝まで進み、上竜平(ヤクルト)らがいる。

Bに坂本勇人(巨人)、松崎伸吾(阪神)、下沖勇樹(ソフトバンク)、川上竜平(ヤクルト)らがいる。



【大阪桐蔭―光星学院】5回裏大阪桐蔭無死一、二塁、打者笠松を迎えマウンドに集まる光星学院ナイン。甲子園

光	星	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪桐蔭		0	0	0	1	2	0	0	0	0	X								3

(光)金沢、伊藤、城間―田村(大)藤浪―森

▷本塁打=白水(大)



大阪桐蔭との決勝戦に先発、力投した光星学院・金沢

深紅の大優勝旗に、またもあとわずか届かなかった。第94回全国高校野球選手権大会最終日は23日、甲子園球場で決勝を行い、本県代表の光星学院は大阪桐蔭に0―3で敗れ準優勝となり、東北勢初の優勝はならなかった。光星学院は3季連続の準優勝。大阪桐蔭は4年ぶり3度目の夏の全国制覇で、史上7校目の春夏連覇。

東北勢としては春夏10度目の決勝で、史上初の春夏同一カードの試合に臨んだ光星学院。先発金沢湧紀は立ち上がり、初回、三回と満塁機を許すも、いずれも要所を締め無失点でのいだ。しかし四回、先頭打者の7番白水健太に中越えのソロ本塁打を浴び、続く五回には連打からのピンチで守備がほころび、さらに2失点した。

自慢の攻撃陣も沈黙。相手の好投手藤浪晋太郎の球威ある直球と変化球に対応できず、チームの安打はわずか2本。頼みの3番田村龍弘は1安打、4番北條史也は不発に終わった。